

浄化槽法第7条検査「不適正」の内訳

平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（1）工事（施工）上の不備、不注意による不適正

内 容		件数（基）	割合
1	流入管きょに未接続（合併処理）	23	8.4%
2	嵩上げの状況（維持管理困難）	14	5.1%
3	放流管きょ勾配不良等による槽内冠水	5	1.8%
4	雨水排除管、屋外洗場排水管を流入管きょに接続	5	1.8%
5	浄化槽本体の水平の狂い	3	1.1%
6	送風機の設置不良（未設置、空気配管の破損・過長）、配管の誤接続（1）	2	0.7%
7	特殊排水の流入（犬小屋）	1	0.4%
8	浄化槽本体点検口蓋の欠落・破損・亀裂・変形	1	0.4%
小 計		54	19.8%

（2）浄化槽設置届書との相違による不適正（処理対象人員不足）

内 容		件数（基）	割合
21	申請建築用途と実際の建築用途が異なる	8	2.9%
22	申請建築物以外の建築物から接続	4	1.5%
23	申請より人槽の小さい浄化槽を設置	2	0.7%
24	申請建築面積と実際の建築面積が異なる	1	0.4%
25	その他（計算ミス・無届け）	2	0.7%
小 計		17	6.2%

（3）計画、設計、製造上の不備、不良による不適正

内 容		件数（基）	割合
31	実流入汚水の過負荷（流入水量が多い）	9	3.3%
32	送風機、ばっ気攪拌装置又は逆洗装置の固定不良	7	2.6%
33	制御装置の固定不良（稼働不良）	5	1.8%
34	ろ材、接触材又は担体の浮上	3	1.1%
35	送風機の固定又は稼働状況不良	2	0.7%
36	槽本体と隔壁（仕切板）接続部不良	1	0.4%
37	その他（特殊工事が必要）	2	0.7%
小 計		29	10.6%

（4）その他による不適正

内 容		件数（基）	割合
41	保守点検未実施（128）、清掃に関する指摘事項（10）	138	50.5%
42	放流水の水質不良	15	5.5%
43	保守点検の内容が不十分（消毒剤の消失;11、接触不良;2）	13	4.8%
44	各単位装置の水の流れ方の異常	3	1.1%
45	使用状況が不良（油脂類の流入）	2	0.7%
46	機能障害（生物膜の生成不良）	2	0.7%
小 計		173	63.4%

合 計		件数（基）	割合
		273	100%

浄化槽法第11条検査「不適正」の内訳

平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(1) 保守点検・清掃が不十分による不適正

内 容		件数 (基)	割合
1	清掃未実施 (1108)・回数不足 (26)、記録票の保存状況 (156)	1,290 (2)	44.5%
2	保守点検未実施 (195)、回数不足 (21)、記録票の保存状況 (3)	219 (3)	7.6%
3	送風機故障 (164)、旋回流・ばっ気攪拌停止、逆洗装置の稼働不良等	166 (34)	5.7%
4	汚泥の流出状況及び放流水の外観不良	121	4.2%
5	汚泥管理作業不十分 (114)、清掃通知書未交付 (2)	116	4.0%
6	ろ材、接触材の浮上、担体の流出 (逆洗作業の不良又は未実施)	91 (18)	3.1%
7	消毒の実施不良 (66)、消毒装置の固定不良 (5)、消毒装置の接触不良 (1)	72	2.5%
8	制御装置の稼働不良等	27	0.9%
9	各ポンプ類の故障による槽内満水	25	0.9%
10	機器類の稼働不良等	15	0.5%
11	各種調整不良等の管理作業不十分	4 (1)	0.1%
小 計		2,146 (58)	74.0%

(2) 浄化槽の破損・変形による不適正

内 容		件数 (基)	割合
21	本体漏水 (75)、本体破損・変形 (5)、上部亀裂 (1)、嵩上げ部亀裂 (1)	82 (1)	2.8%
22	機器類の固定不良	50	1.7%
23	隔壁等の破損、変形	35	1.2%
24	流入管きよ (14)、放流管きよ (10) 及び弁の破損	24	0.8%
25	越流せきの不均等越流、内部短絡	12	0.4%
26	本体点検口蓋の欠落・破損	7	0.2%
小 計		210 (1)	7.2%

(3) 工事（施工）上の不備、不注意による不適正

内 容		件数 (基)	割合
31	流入管きよに未接続 (71)・誤接続 (7)、勾配不良等	80 (11)	2.8%
32	放流管きよ勾配不良等による槽内冠水、逆流 (越流せき部)、放流先の異常	41 (2)	1.4%
33	槽本体の深埋め (維持管理困難、破損の恐れ)	35	1.2%
34	屋外洗場・雨水排除管の誤接続 (13)、雨水・土砂等の流入 (4)	17 (1)	0.6%
35	維持管理困難 (足場、手摺り等なし)、蓋が重く開閉困難	10	0.3%
36	空気配管の誤接続 (散気用と逆洗用)	3	0.1%
37	槽本体の水平の狂い	2	0.1%
38	流入管 (導入管) の接続・位置不良	1	0.0%
39	短時間に多量の汚水が勢い良く流入する (原水ポンプ調整器無し)	1	0.0%
小 計		190 (14)	6.6%

(4) 処理能力が低下し、老朽化 (旧構造浄化槽) 等による不適正

内 容		件数 (基)	割合
41	長時間ばっ気方式 (単独処理)	94	3.2%
42	施設全体の老朽化	48	1.7%
43	腐敗方式 (平面酸化型)	24	0.8%
44	腐敗方式 (散水ろ床型)	4	0.1%
小 計		170	5.9%

(5) その他による不適正

内 容		件数 (基)	割合
51	実流入汚水量の過負荷 (実流入汚水量)	98 (18)	3.4%
55	単位装置の水流の状況 (閉塞等)	33	1.1%
52	処理対象人員不足、無届け (2) 等	27	0.9%
54	機能障害 (生物膜の生成不良)	15	0.5%
53	使用状況が全般的に悪い。(油脂類、洗剤の流入)	10	0.3%
小 計		183 (18)	6.3%

合 計		件数 (基)	割合
		2,899 (91)	100%

※件数 (基) 欄の () 内数字は、11条検査 (BOD測定) における不適正件数である。